

広報 おおだて

報

11月16日号
(No.354)

編集と発行 大館市役所

10月

交通事故・件数	31件(236)
傷者	34人(285)
死者	2人(4)
火災・件数	2件(19)
救急・回数	91回(897)
()内は今年1月からの累計	



あなたの年賀状募集

あなたの楽しい年賀状を、市民の皆さんにお届けしませんか！

広報係では皆さんの手作りの楽しい年賀状を募集しています。イラストや漫画、あるいは将来の夢など何でも結構です。締め切りは12月10日、採用の方には記念品を差しあげます。

〈書き方〉官製ハガキの表面に氏名、年齢、住所、電話番号を、また裏面の使い方は縦・横自由ですが、字や絵は大きく太くお書きください。

〈送り先〉大館市宇中城20
市役所総務課秘書広報係まで

写真が昭和三十八年十二月の別所部落にバスが開通したときのもので、花束を抱えているのが当時六歳の私です。市長さんのテープカットの後、バスの運転手さんに花束を渡すのが私の役目でした。

その日は午前十時に式が始まるということもあり、朝早くからこの日のために母に買ってもらった着物を着てきれいに飾ってもらいました。私にとっては、バスが来た喜びよりも、きれいにしてもらったことの方がずっと嬉しく、大はしゃぎでした。

式が行われたのは旧道の別所入口でした。ここから部落までパレード。誰もがバスの到着を笑顔で迎えてくれたような気がします。祖父(写真、私の右隣り)や部落の人たちがバスを通すため幾度も町まで要望に出かけたということ、それだけに喜びもひとしおだったと思います。別所から十二所の本町までは徒歩でおよそ三十分。通学には雨の日や冬の寒い日などは小学生にはちよつと辛い距離でしたが、バスのおかげでほんとうに助かりました。運賃は覚えていませんが、これで大館の町とも随分近くなったんだなあと、子供心にも思いました……。



藤原京子さん
(旧姓・黒田 26歳)

別所にバスが開通
花束を贈った私